



賀茂縣主だより

所 法 人
主 会
賀 茂 縣
同 族 会

「京の葵祭(賀茂祭)展」案内
来る四月十二日(五月十八日迄)京都文化博物館にて、私共の先祖達が祭祀したと云われる賀茂祭展が開催され、同族会所蔵の国指定の重文系図も併せて展示(詳細はホームページの会務報告を参照されます)より多くの会員各位のご観覧をお薦め致します。

新年のご挨拶

理事長 西池 成晃

明けましておめでとうございます。年初にあたり神山にお坐します神のご神威が益々盛んになりますことをお祈り申し上げますとともに会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げますと思います。

また平素は同族会の諸事業に深いご理解とご支援を賜り心から御礼を申し上げます。

昨年を振り返り数点のご報告を申し上げます。

第一は昨年二月一日付で私が上賀茂神社の責任役員に選任され就任いたしました。

職責の重大さを痛感しますとともに皆様のご指導を切にお願いする次第です。

私の任務の重点が賀茂社発展にあることは勿論ですが併せて創建氏族としての同族会と現在の賀茂社との関係課題を改善し解決してゆくことも重要な任務と考えています。

第二は既に実施しています同族会運営細則類の中へ「文化財管理システム運用指針」を追加し九月二十九日施行いたしました。

この指針は賀茂氏に端を発し、または由来する

輝かしい文化や文化財の発掘、保存、伝承、公益的活用を組織的に行おうとする趣旨のものです。これに基き昨年十一月二十三日京都産業大学が企画した「明神川・社家町・梅辻家」と題する梅辻家の公開にも協賛団体の立場で同族会が参加し賀茂の地の文化活動活性化の一翼をも担いました。また今年四月十二日から五月十八日まで開催される京都文化博物館主催の特別展「葵祭」へも協力団体の立場で重文「賀茂禰宜神主系図」を出展いたします。

第三はI・T導入の一環として昨年お配りした会員名簿にはEメールアドレス欄を新設いたしました。これは会員意志の疎通と会務への反映を容易にするものであつて現在準備中の同族会ホームページを併せて活用していただくようになります。会員の連帯、結束に効果を発揮するものと考えます。

このほか歴史勉強チームからは「みたらしのうたかた」第2号を上梓し賀茂氏文化の顕在化に有効な活動となつてきています。

本年は引きつづきこれらの事業の一層の充実と定着を図つてまいりますがこのほかに同族会運営上の根本的部分について再検討を加え考え方の整理見直しを図りたく思います。そして確固たる存在感のもてる同族会を皆様とともに創つてゆきたく考えます。

最後に皆様のご健勝を切にお祈り申し上げます。



平成十四年十月二十七日

賀茂縣主同族会祖先祭

(敬称略)

藤木 文雄
 浦野 邦夫
 三宅 季文
 岡野利津子
 岡本 修
 山本 節子
 山本 浩久
 戸田 保輝
 藤木 啄也

岡本 和夫
 西池 成俊
 芝 清一郎
 岡野 浩
 三宅 和恵
 山本 愛子
 藤木 清子
 藤木 十紫子
 藤木 茂
 市 和子
 梅辻 篤子
 中大路平頭
 市 忠頭

堀川 潤
 市 真由美
 西池 隆造
 山本 英顕
 山本 登志枝
 鶴飼 重夫
 鶴飼 恒氏
 西池 恒氏
 中大路保利
 太田 静子
 西池 恵美子
 岡本 田満
 岡本 タキノ
 堀内 保丸
 西池 華子
 藤木 保誠
 梅辻 諄

錦部 美清
 錦部 清織
 錦部 俊和
 山本 健太
 山本 信吾
 山本 敏子
 藤木 光男
 藤木 保和
 東辻 秀昭
 藤木 成晃
 西池 元顕
 北大路元顕
 市 和顕
 太田 重明
 岡本 正保
 西池 鈴子
 岡本 吉子
 藤木 和子
 藤木 伸子

在實一千年祭に向けての投稿(其十)

京都市北区上賀茂 岡本光子

明治四十年四月二十八日

中祖在實君九百年薦事報告書より

五十二首の内五首

獻備之歌

対花言志

御霊神社司 出雲路 敬通

庭さくら にほふかことく我もまた
 詞の花を さかせてしかな

さかりなる 櫻よわれもなれのこと
 筆の林に ささ匂はゝや

人目には みえぬ言葉のちりをさへ
 すゑしと思ふ 山さくらかな

一本の さくらの木の實おひしけり
 花咲はるに あふそ嬉き

徒らに 花の色香はうつれとも
 又さき返る 時は來にけり

武士の こゝろも花にさけかしと
 さとし顔なる 山櫻かな

野村 孝清

山本 經門

山本 孝清

野村 孝清

山本 孝清

寄稿
私の想出

京田辺市 岡本 正保

浅学無能の自分には此れと言った知識も無く、ただ現在の家(家系)を維持して行くのが精一杯の現在ですが、うろ覚えに脳裏に残って居る、たづ伯母さんの事を少々述べさせて頂きます。たづ伯母は父の三つ上の姉です。丹波園部の士族小島家に、明治二十八年に嫁ぎ同三十八年夫死亡に付次男三千雄と共に、岡本家に復帰し、その後東久邇の宮様妃殿下に御側用人として奉仕して居た時、その妃殿下が御所に来られた時、時々幼稚園に自分を呼びに来られ、「その時代には自分は中立売烏丸西入ルの幼稚園に行つて居た三、四歳の頃」一、二時間位お相手をし、又幼稚園に送つてもらい帰つた様な事が、今でも脳裏の奥深くに残つて居ます。小島家のたづ伯母の長男は千葉県銚子税務署長を務めて居ましたが、今は亡き人となり、その息子が(たづ伯母の孫)宜親が福知山中部六十三部隊に入隊して居り、自分が徳島西部三十三部隊に応召にて入隊三ヶ月後福知山に転属して来た時、偶然にも会い、自分はガス隊に編入され千葉習志野に行く迄三ヶ月間一緒でした。中隊は違つたが、自分は

ち、兵庫県普野ヶ原西部第四十九部隊戦車隊に分遣され戦車操縦訓練を受け福知山に着隊後、福井県鯖江中部八十部隊に転属し「新編成部隊」ガス散布隊の初年兵教育に専念し、十八年十二月満期除隊後、以後臨時召集も無く、以後会社勤務し現在に致りました。現在今日迄壮健にて、軍隊時代も野戦にも行かず、此の様に生活できるのも、神々様の御守護のたまものと感謝致して居る現在であります。それから今春藤木茂様より頂戴した「アオイ」は秋に葉が枯れてしまい、秋の同族会の折御伺いたところ秋に枯れ、春に新しい芽を吹くとの事安心しました。

訂正とお詫び

イ 十四年度版会員名簿二頁役員名簿の中の評議員藤木俊昭氏は藤木秀昭氏の誤りでした。

正しい住所、電話番号は、

〒六五八〇〇八二 神戸市東灘区魚崎北町四一五―一四一三〇六
TEL(FAX)〇七八―四五二―七七三九

口 同名簿最終頁の記載事項誤り、住居異動時等の連絡先(宛所)は、

〒六〇三―一八〇七六 京都市北区上賀茂山本町四五 北大路元頭 の誤りでした。
訂正して深くお詫び申し上げます。

訃報

前理事長関目季弘さんが、去る十四年十一月九日療養の甲斐なくお亡くなりになりました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

葵俳壇

上賀茂 市 和 頭

五百年の社歴を知れる桜あり

ハイヨーと馬追う声や五月晴

初詣焚火ほのぼの鳥居前

上賀茂 藤 木 十 紫 子

秋青くいにしえ迎る祖先祭

水澄むや宮を流るゝ神の川

上賀茂 北大路 みよ子

蠟梅の床にこぼる留守の夜

さんやれのためし太鼓や夜の雪

朝霧に托鉢僧の声流れ

葵歌壇

上賀茂 岡本 光子

神園

神前に櫛を手向け拝礼す

白砂輝き鈴おこぼ良し

冷泉家玉緒会所属

上賀茂 北大路 和 子

野分

野分たち小萩か花も散り果てぬ

名残さびしき今朝の庭の面

木 枯

夜もすから秋を誘ひて吹きすさぶ

木枯わたり山住みの庵

立 春

春立つと朝明の風にめざむらん

初音を洩らす谷のうくひす

初 日

海と空あかねに染めてうららかに

初日かかよる春のあけほの

秋 風

秋風にさ霧払はれ冴え冴えと

八十島かけて澄める月影

右の歌は平成十四年九月平成歌会に京都府知事賞を受賞しました。

祖先祭に関するアンケート結果

毎年の祖先祭斉行に際し、今後より多くのご参列を頂き度く、今回初めて参列者を対象にアンケートを実施致しました結果43名の方から、次の回答がありましたので報告致します(紙面の関係上無回答であった箇所は質問項目を省いております。ご了承ください)。

1 参列者年令別

- 6才〜12才 一名
- 30才〜39才 三名
- 40才〜49才 四名
- 50才〜59才 九名
- 60才〜69才 十四名
- 70才以上 十五名

2 あなたは?

- 同族会員 二十七名
- 会員の配偶者 十二名
- 会員の子供 二名
- その他 一名

3 祖先祭への参加は今回が

- 初めて 一名
- 二回目 一名
- 三回目 二名
- 四回以上 三四名

4 前回参列したのは?

- 去年 二五名
- 二年前 三名
- 三年前 三名
- 四年以上前 四名

5 祖先祭の時期は何時がいいですか?

- 九月 三名

- 十月 二五名
- 十一月 六名
- 四月・六月 各一名

6 神事・直会は?

- 座布団がよい 十二名
- 椅子がよい 三十名

7 本日の講演について

- △演題は 興味深かった 三九名
- 難しく理解しにくかった 二名
- 一応理解出来た 二十名
- よく理解出来た 十七名

8 演題内容の難易度について

- △今後聞きたい講演の演題は
 - ・同族祖先の人物像及歴史的作用
 - ・賀茂縣主の歴史
 - ・明治維新以後の変遷
 - ・同族会の歴史
 - ・同族会の人々の体験談
 - ・賀茂の歴史
 - ・古文書の事について

9 講演以外で祖先祭の時にしたらよいと思う催しは?

- コンサート 四名
- 写真展 十一名
- ビデオ上映 十九名
- 幼児向け 二名
- 小中学生向け 五名

10 幼児向け又は小中学生向けプログラムについての提案は?

- ・幼児は基本的に連れてこない。
- ・小中学生に、賀茂氏、同族会について興味を持たせるビデオ作成と上映又その事前PR。
- ・子供劇はどうか。

・福引(玩具・菓子等)大人の講演と別室で平行してはどうか。

11 今日の日会について

- 良かった 二六名
- まあまあ 十一名

12 今日の日会祭の全般について

- 良かった 二五名
- まあまあ 十二名

13 その他意見が有りましたら、ご自由にお書き下さい。

- ・開会時間を30分遅くした方が、市内以外の方も参加しやすいのではないか。
- (注)毎年午前九時受付開始、本殿参拝午前十時。(事務局)
- ・皆様のご意見を多く聞き度い。
- ・三年振りの参列で若返りを感じた。今後も若い人の参加を願う。
- ・記念写真の配布は希望者のみにしても良いと思う。

系図・名簿チーム活動報告

戸田 保輝

同族会において所蔵している「賀茂禰宜神主系図」は、明治初年頃までしか記載がなく、その後、昭和四十四年八月に国の重要文化財に指定されたことにより、同系図の書き継ぎができなくなっております。このため、同族会では、事業の一環として、「賀茂禰宜神主系図」記載以降現在に至るまでの系図の作成

を、平成十二年十月七日開催の理事会で決定し、同二十九日開催の祖先祭時に全会員(欠席者は郵送)の方々に自家の家系図を作成し、提出して頂くようお願いし、期日までの未提出者には、平成十三年三月より、平成十四年一月の間に三回に亘り、提出のお願いをいたしました。

この結果最終締切日(平成十四年一月末)現在未提出者は約五十名となりました。

チームでは皆様から提出された家系図を基に、パソコン入力を終え、現在最終チェック段階に入っております。

今後は、「同族会系図」(仮称)の一日も早い完成をと思いながら、鋭意努力をいたしております。

「平成十四年度会員名簿」祖先祭時に配付(欠席者は郵送)いたしました。今年度の名簿はA四判とし、支部名、Eメール欄を加え内容を充実いたしました。会員相互の連携とより一層の親睦を図るためにご活用ください。

なお、住所移転のとき、又は、この名簿に誤記があるときは、末尾記載例によりお知らせ下さい。

※末尾記載例、副理事宅住所「本山」を「山本町」に訂正して下さい。

歴史勉強会より

梅辻 諄

「みたらしのうたかた」第二号を読んでいた皆さまはか。えらいむつかしいことばかり書いているなどお感じになった方もあると思いますが、今後はもっと内容にバラエティを持たせて、さまざまな伝承やしきたりなどの記事も含めたいと思います。発行は年一回(祖先祭)の時ですが、原稿はいつでもお受けします。わが家にはこう云う云い伝えがあるとか、こんな面白そうな資料があるとかお知らせ下さい。短い文章でも結構です。

毎月一回行っている勉強会では、「賀茂注進雑記」の研究の他に、賀茂独特の往来田や荘園などの資料や話題が提供されて、参加メンバーの自由な論議でにぎやかに時間が経過します。まだ準備が出来ていないのですが、今後「賀茂禰宜神主系図」のCD版がお頒け出来るようになったら、各家の歴史にも挑戦したいと思います。この系図はまさにわれわれ一族の歴史の宝庫です。勉強会には現在十数人の方が毎回参加されていますが、今後はもっと仲間が増えることを期待しています。特に若い方々や女性の積極的な御参加を要請します。

会務報告

副理事長 北大路 元 顕

◎第二十七回理事会(出席九名)

平成十四年六月十六日

一、十三年度事業報告及収支決算の件

当財団年間三事業(系図展観・神事奉仕・祖先祭)が無事斉行された事、これら三事業を円滑に推進する為助成金の募金に関する説明後、「賀茂縣主だより」を二回発行した事、系図名簿のうち系図知新録の追加整備中である事が報告され何れも全員の賛成を得た。収支決算については会計担当理事より説明がこれについても全員の賛成を得た。

二、新規加入申請者の審議の件

西岡清孝氏から新規加入の申請があり、会員資格要件に適合しており承認された。

三、系図曝涼打合せの件

概ね例年通りとし、七月二十八日(日)に実施

①各方面に広くPRする為案内葉書を五〇〇枚に増やす(注例年は会員数プラス若干枚)。

②案内葉書に各流の展観時間を目途として表示する。

③京都府文化財保護課の石川登志雄氏を招き系図保管及取扱等の指導を得る。

④系図CDにて希望者に部分コピーを提供する。

⑤経費節減の為、昼食・直会等を見直す。

四、IT導入作業の経過の件

ITチーム岡本英利氏(東京在住)作成による賀茂縣主ホームページ手順に基きホームページ開設作業を推進することが承認された。

五、その他報告事項

①京大名誉教授大山喬平氏の研究グループに学術研究の為系図複写を進呈

②京都文化博物館より系図の一般公開につき打診があり、貸出しについて前向きで検討する。

(注)京都文化博物館開館十五周年記念葬祭展

念葬祭展

―上賀茂・下鴨のまつり―(仮称)

会期 平成十五年四月十二日(土)

〳五月十八日(日)

展示場所 京都文化博物館四階

特別展示室

③会員太田重明、岩佐氏昭、両氏より寄

附金を頂いた。又元会員の故田口誠

子氏のご遺志で同族会に寄附の申出

が、ご遺族からあり有難く頂戴する事にしこれらの寄附金については来るべき中祖在実卿の千年祭に役立てる予定である旨が北大路副理事長より説明があり承認された。

◎第二十八回理事会(出席十名)

平成十四年九月二十九日

一、十四年度祖先祭の準備の件

祖先祭予算、式次第、諸役役割分担は例年に準じ作成したとの説明が藤木啄也常務理事からあり全員の賛成を得た。尚当日祖先祭をより有意義に斉行する為及今後の資料とする為、当日の祭典参列者にアンケートを実施する事とした。

二、京都文化博物館へ重文系図貸出の件

京都文化博物館の開館十五周年記念として「葬祭―上賀茂・下鴨まつり―(仮称)」が開催されるにつき、西池理事長から同族会のPRとなるから「後援者となる事を条件に出席したい」との発言があり、全員の賛成を得た。

三、系図の修理と保存箱の調製の件

京都府文化財保護課主査石川氏の紹

平成15年役員会開催予定(於神社)

1.評議会

- 第28回 平成15年2月16日(日) 13:30
- 第29回 平成15年6月8日(日) 13:30
- 第30回 平成15年9月23日(祝) 10:00
- 第31回 平成15年12月7日(日) 13:30

2.理事会

- 第30回 平成15年2月23日(日) 13:30
- 第31回 平成15年6月15日(日) 13:30
- 第32回 平成15年9月23日(祝) 13:30
- 第33回 平成15年12月14日(日) 13:30

3.合同事務局会議(於神社 37回は10:00他は全て13:30)

- 36回 2月2日(日) 37回 3月2日(日)
- 38回 5月18日(日) 39回 7月20日(祝)
- 40回 8月24日(日) 41回 10月19日(日)
- 42回 11月16日(日)

4.系図展観 平成15年7月27日(日)

5.祖先祭 平成15年10月26日(日)

(注) 神社の都合で日程の変更もありますのであらかじめご承知下さい。

介の、国立博物館指定業者の見積額は当初予想よりはるかに上回って居り、同族会の負担額は約二〇〇万となり、資金不足の為再検討することになったが再度府文化財保護課の石川氏より、業者見積書内容の説明を受けた際の理事長からの発言があり、その後の決定は執行部に一任された。

四、文化財管理システムの指針案の件
藤木文雄理事から同族が作った文化遺産を保護管理し、次世代に継承する為の指針(案)を作成した。今後具体化(発掘・収集・保護・活用等)が関心を持って活動することに努め逐次細則とし

て整備したいとの発言があった。

五、関東支部以外の他支部の結成の件
関西地区の設立準備段階として、藤木秀昭、堀内義晃両評議員に依頼し、名称地域区分等について意見があれば申出るよう理事長より発言があった。

六、IT導入の進捗状況報告の件
これまで進捗状況の報告があり、過去九回ITメンバーによる会合の結果「ホームページ構成項目案(第三次案)」がまとまった旨の報告が理事長からあった。

七、平成十四年度助成金募集の件
系図の修理・在実千年祭等の資金調達の為、目標額を二百万円(二十万円増)

とした旨藤木啄也常務理事から説明があり全員の賛成を得た。

◎第二十五回評議員会(出席十九名)

平成十四年六月九日

- 一、十三年度事業報告及収支決算の件
- 藤木会計理事より説明があり(詳細は第二十七回理事会の項参照)審議の結果意義無く全員の賛成を得た。

二、系図展観の件

十四年七月二十八日開催予定の系図展観の所用経費及役割分担又当日系図の部分コピーを有料で提供する事等が審議され全員の賛成を得た。

三、新規加入申請者の審議の件

(注)第二十七回理事会の項参照

四、その他

- ①ホームページ開設の件
- ②会員太田重明、岩佐氏昭両氏から寄付金を頂き又故田口誠子(会員)氏の遺志として寄付金を頂いた。
- ③中祖在実卿千年祭の資金として一般運用資金から百万円を支出すると共に前記三氏から頂いた寄付金もこれに当てる事とし「なるべく特別の募金をしなくても千年祭が斉行出来るようにしたい」との北大路副理事長

から希望が述べられた。

◎第二十六回評議委員会(出席十八名)

平成十四年九月二十三日

一、祖先祭準備の件

- 二、京都文化博物館へ重文系図貸出の件
- 三、系図の修理と保存箱調製の件
- 四、文化財管理システムの指針案の件
- 五、関東支部以外の他支部の結成の件
- 六、十四年度助成金募集の件
- 七、IT導入の進捗状況報告の件

(注)議案一号から七号については紙面の都合で割愛した。第二十六回理事会の項を参照されたし。

編集後記

- ・あけましておめでとございます。
- ・本年は皆様には良い年でありますように編集部一同祈念いたしております。
- ・会員数約四百名、毎号二・三名の方から原稿を出して頂きますと苦勞せずに広報誌が発行出来るのにと、思うのは編集部が戯言でしょうか。
- ・本年も同族会行事に格別のご協力を頂き、皆さんでより良い同族会を構築して行きたいと思っております。